

# むさしの POPカルチャー MAP

マンホール & トランスボックス  
—アニメ編—

2026年  
3月発行

## アニメ『機動警察パトレイバー EYZ』 × 武蔵野市トランスボックス

吉祥寺駅北口周辺10カ所のトランスボックスに、アニメコンテンツを活用したラッピングを施しました。おなじみの商店街や周辺のランドマークを背景に、最新作『機動警察パトレイバー EYZ』の主人公たちが吉祥寺のまちに飛び出しているかのようなデザインは必見です。

### トランスボックスとは？

まちの景観保護や災害時の安全確保の観点から、無電柱化を行うために歩道上に設置される地上機器のこと。送電に必要な機器などが収納されています。



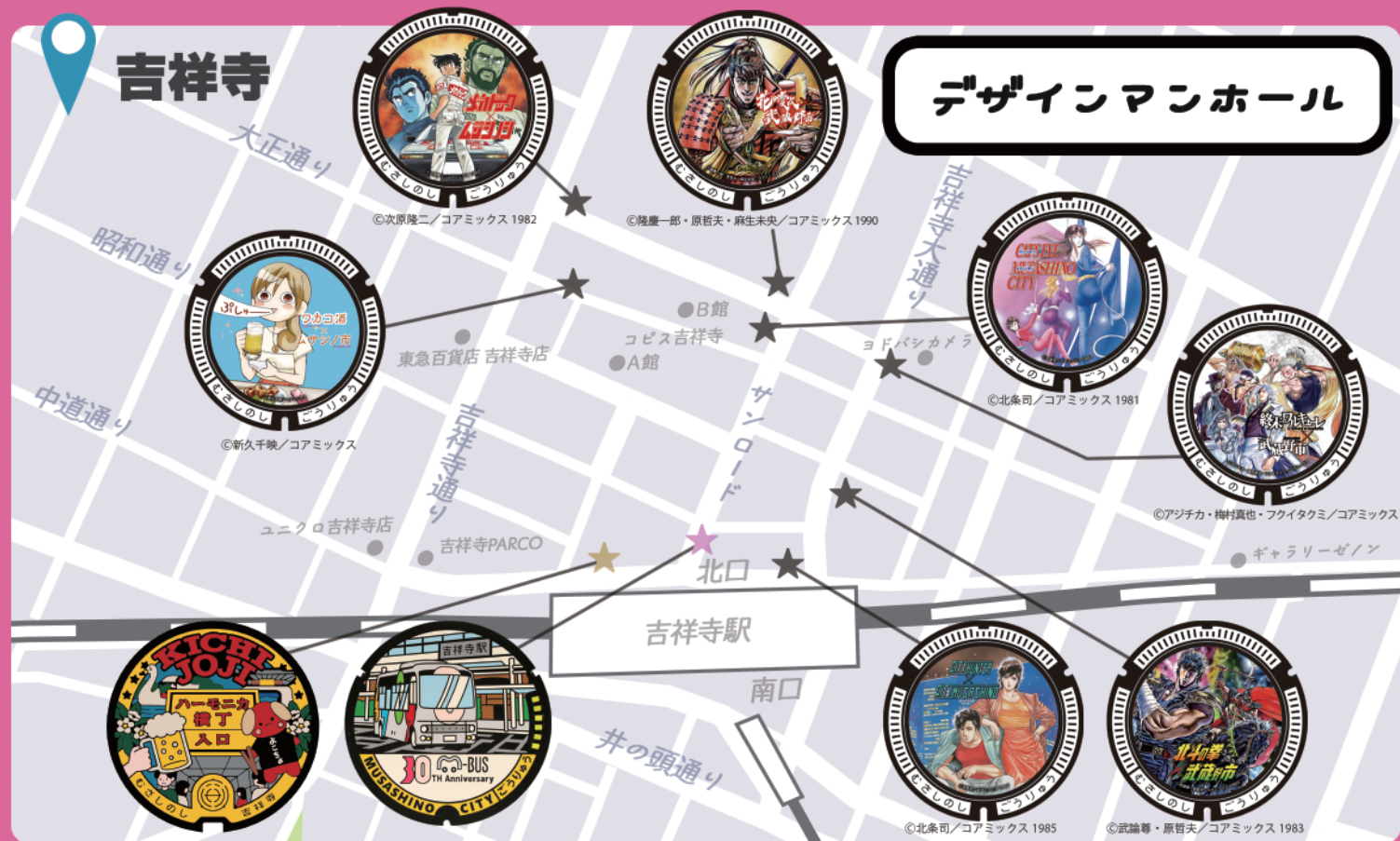
©HEADGEAR / 機動警察パトレイバー EYZ製作委員会



トランスボックス写真提供：武蔵野市

# 吉祥寺

## デザインマンホール



# 武蔵境

## 吉祥寺

2023年

市内に本社を置く漫画出版社コアミックスとコラボしたデザインマンホール7種類が2023年に完成しました。絵柄は『北斗の拳』『シティーハンター』『キャッツ♥アイ』『花の慶次一雲のかなたに』『終末のワルキューレ』『ワカコ酒』『よろしくメカドック』の7種類です。

## ムーバス&ハーモニカ横丁

2025年

2025年にハーモニカ横丁80周年、ムーバス30周年を記念したデザインマンホールが完成しました。ムーバスは周年を記念したロゴと特徴的なバスがデザインがされています。ハーモニカ横丁は成蹊中学・高等学校の授業から生まれた横丁のイメージキャラクター「よこちょ」と「ビール」、吉祥寺駅の象徴的なもの、そして武蔵野市の花である「ムラサキ」がデザインされています。

## 武蔵境

2024年

市内が舞台となったアニメ作品『SHIROBAKO』のアニメ放映開始から10周年を記念し、ファンに聖地として知られる武蔵境駅前に、『SHIROBAKO』のデザインマンホール3種類が設置されました。



## ギャラリーゼノン クリエイターズラウンジゼノン



GALLERY ZENON

CREATORS LOUNGE ZENON

日本が世界に誇る「MANGA」をアートとして魅せ、吉祥寺から世界に発信するギャラリーゼノン。そして漫画本やクリエイター向けの参考書が並ぶ空間で創作欲を刺激するちょっと変わったクリエイターズラウンジゼノンは、吉祥寺駅から5分ほどの場所にあります。

## タツノコプロ

アニメ制作会社がまだ珍しかった時代に創業したタツノコプロ。革新的な作品群は日本のアニメ文化を形づくり、多くのクリエイターを育んできました。創業した国分寺から武蔵野市に拠点を移し、その創造のDNAを次の世代へとつないでいます。その他、多くのアニメ制作会社が武蔵野市を拠点としています。



©タツノコプロ

市内や近隣には漫画・アニメ制作会社が多く、漫画家やクリエイターも数多く暮らす武蔵野市。今回紹介したマンホールやトランスボックスのほかにも、街のあちこちにサブカルチャーを感じることができます。漫画・アニメはもちろん、音楽や映画など多彩なカルチャーが交差するこの街を歩けば新しい出会いと発見が待っています。